

深化 を意図した道徳の時間

主題名 「一人一人が輝く集団を作る」

内容項目 4－(4) 集団生活の向上

第2学年A組 21名 指導者 笹崎 智絵美

10月14日(金) 5校時 LL教室

1 **ねらい** 一人一人が個性を伸ばし、互いに認め合える集団をつくろうとする態度を育てる。

2 **資料名** 「クラスの痛み(朗読劇)」(光村図書「きみがいちばんひかるとき」②)

3 主題設定の理由《指導観》

(1) ねらいとする道徳的価値について《価値観》

生徒は、モノと情報があふれる環境で育っている。個の生活に満足してしまい、集団生活に背を向ける者もいる。学級や部活動、委員会などのコミュニティにおいて、自分を基準に物事を考え、自分と同じように考えられない者、動けない者を認めることができない様子もよく見られる。しかし、人は集団の中にあつてこそ互いを認め合い、磨きあい、いっそう輝くことができる。本資料を通して、どのようにしたら個を生かした集団ができるのか、より良い集団を作ろうとする意欲をもたせ、それを求めていく態度を育てたい。

(2) 生徒の実態《生徒観》

小学校から2クラスのみで学んできているため、誰とでも仲良く接することができる関係性がある。意見交流や挙手発言も活発であり、目立った問題もない。しかし、親しい友人関係は固定されており、周囲の目を気にし、友達の言動を指摘するような伝えにくいことは話すのを躊躇し、見て見ぬふりをする傾向がある。事前アンケートでは、「話し合い活動において自分の考えを伝えるのが苦手・どちらかといえば苦手」とした生徒が71%、理由は「自信がない」「間違えたら恥ずかしい」というものだった。

互いに高め合える集団を作ろうとする態度を育てるため、これまでに以下のような指導を行ってきた。

① 道徳の時間における指導

5月に内容項目1－(2)「小さな勇気こそ」を題材とし、「できるようにになりたいこと」について意見交流を行った。その際、「誰かが嫌がっていたらまわりを注意できるようにになりたい」「まわりに流されずに自分の意見を言えるようにになりたい」という意見が多く出され、自分の個性を意識し、より良い集団を作ろうとする気持ちを互いに確認できた。また、1－(1)「挨拶はことばのスキンシップ」を題材とし、「礼儀を伴った挨拶」について意見交流を行った。その際、挨拶することはコミュニケーションのきっかけであり、相手と無関係ではなくなることが大切だという意見が多く出された。これらは、本資料における「まわりに無関心なクラスメイト」の心情と深く関わっている。

② 各教科等での指導

ア・教科指導

国語科では、「アイスプラネット」で登場人物の心情を読み取りながら、相手を信じること、一度は疎ましく思った相手でも、相手の自分に対する思いに気づくことで見方が変わることを学習した。また、数学科での教え合いの活動や体育での競い合い

の活動において、時には支え合い、時には競い合いながら互いの力を伸ばすことを日々学んでいる。

イ・特別活動

高原学校では、カッター実習やキャンプファイヤーを通して、学級で団結して活動することの楽しみを感じ、絆を深めてきている。

体育大会では、長縄跳びや応援合戦など、全員で協力し、失敗したことを責めずに力を合わせることで成功することを体験した。それぞれの場面で得意分野をいかして活躍する人を探すこともできた。

ウ・日常での指導

係活動や委員会活動を通し、お互いの考えや立場を尊重し合うよう指導を行ってきた。

以上のような指導により、個人ではなく集団で物事を成し遂げ喜びを感じる姿や、そのためにお互いの良い面を認め合おうとする姿が見られつつある。

本時の授業は「**深化**」を意図して行う。生徒たちは日々の学校生活や行事の中で、集団で物事を成し遂げるためには、お互いが得意なことや苦手なことを認め合って協力する必要があることを学んでいる。本時の学習を通して、個人が活躍できるように集団生活を向上させようとする態度を育てたい。

（３）資料について《教材観》

本資料は朗読劇になっていて、生徒の代表がそれぞれの役を担当しながら読み進めていくことにより、作中のクラスの雰囲気を想像しやすくなっている。登場人物の視点を変えてみると作中のクラスの問題点は複数あり、改善策もそれぞれに考えられることから、生徒が自分の意見を持ちやすく、意見交流を活発にしやすい。交流の中から、集団生活を向上させるためにどんなことが大切か、そのために自分個人に何ができるかを考え話し合うために有効な資料である。

４ 深化を意図し、ねらいとする道徳的価値の自覚を深めるための指導の工夫

（１）道徳的価値について理解するために

- ・アンケート結果「自分の所属する集団が『一人一人が自分らしくいられるクラス』になるためには、どうしていくべきですか？」を利用し、本時の学習価値への方向付けを行う。
- ・それぞれの登場人物の言動、クラスの問題点を簡潔に板書し、まとめることで場面を把握してから話し合い活動へ進む。

（２）自分とのかかわりで道徳的価値をとらえるために

- ・それぞれの立場を比較した上で、特に「洋子」について賞賛する意見が出てきたときに、「自分に同じような行動ができるか」と補助発問をすることで、自分自身の生活にひきつけて考えさせる。
- ・グループでの話し合い活動を通して、自分とは違う意見を知り、集団生活の向上について考えを深められるようにする。

（３）道徳的価値に関わる課題を培い、人間としての生き方について自覚を深めるために

- ・集団の中で自覚なく周囲に嫌な思いをさせてしまったり、注意できなかったりしたことを思い出し、集団生活をより良いものにするためにどうするかを考える。

5 人権教育との関わり

今日の学校現場の現状として、いじめ、不登校、SNSによる誹謗中傷等、子どもの人権にかかわる様々な問題がある。こういった環境の中にいる子どもたちに、「どのようにしたら一人一人が輝く集団ができるのか」という意識を持って行動できる人権感覚を育んでいくことが必要となる。

本題材では、課題を抱えるクラスにおける各登場人物の気持ちを朗読劇を通して考えることで、物事を自分中心で判断するのではなく、相手の立場に立って考え、行動することの大切さを理解させ、「個をいかしたよりよい集団を作ろう」とする態度を育んでいきたいと考える。

6 本時の展開

人権教育の視点

○感性：このクラスの問題点に気づき、クラスメイトの気持ちを感じ取ることができる。

○実践力：一人ひとりが自分らしくいられることの大切さに気づき、互いに認め合える集団を作ろうとしている。

過程	学習活動と発問「 」(◎は中心発問) ・予想される生徒の反応	指導上の留意点(○) 及び評価の観点(☆)
導入 (5分)	1 互いに認め合える集団について考える 「自分の所属する集団を『互いに認め合える集団』にするため、あなたが今していることは何ですか?」という事前アンケート結果を発表する。	○事前アンケートを取っておく。 ○テレビ画面に結果を表示し、全体で確認する。
展開 (35分)	2 朗読劇「クラスの痛み」を聞いて、話し合う<価値理解> ○登場人物とその関係を確認する。 3 登場人物の行動を考える<他者理解> <人間理解> ◎(1)「あなたがこのクラスの一員だったら、洋子の『なぜ一人一人が自分らしくいられないクラスにならないの』という問いに何と答えますか。 (予想される反応) ・お互いに無関心で声を掛けない ・正しいことをしようとしている人を認めない ・いじめをする人がいる (2)(補)その問題を解決するために、どんな方法が考えられますか? (予想される反応) ・注意する ・相談に乗る ・先生や先輩など、周囲に相談する	○発表者は生徒会本部役員および学級役員を中心に事前に指名しておく。 ○発表中は聞くことに集中させ、劇の発表終了後に副読本を開かせる。 ○登場人物の確認は教師主導で行い、話し合い活動の時間を長く取る。 ○問題点はひとつではないことを意識させ、それぞれのクラスメイトの気持ちを感じ取らせる。【感性】 ○個人で考えたあとに、小グループで意見交流をして考えを深めさせる。 ○机間指導をしながら話し合いの様子を観察し、意見が分かれたり行き詰まったりしているグループには、適宜助言をする。 ○全体に問いかけて考えさせる。 ○すべきことがわかっていても実行できない人が多くいることを確認し、よりよい集団にするための方策について考えを深めさせる。
終末 (10分)	4 道徳的価値について自分とのかかわりで考える<自己理解> ○(2)自分の所属する集団を「互いに認め合える集団」にするために、あなたはこれからどうしていこうと思いますか?	○これからについて考えさせる。 ○数名に発表させる。 ☆互いに認め合える集団を作るために、自分にできることを考えている。【実践力】

7 板書計画

アンケート結果
(タブレットPCよりTV画面に表示)

○自分の所属する集団を「認め合える集団」にするために、あなたはこれからどうしていいかと思えますか？

◎あなたがこのクラスの一員だったら、洋子の問いに何と答えますか？

直美

博司

洋子

鉄也

幸次

「クラスの痛み」 集団生活の向上

7 ワークシート

道徳ワークシート

組 番 名前 _____

『クラスの痛み』

— 互いに認め合える集団を作る —

①あなたがこのクラスの一員だったら、洋子の「なぜ一人一人が自分らしくいられるクラスにならないの？」という問いかけに、何と答えますか？

(自分の考え)

(自分とは違った周りの人の考え)

②話し合いを終えて、深まったり変わったりした考えをまとめましょう。
あなたがこのクラスの一員だったら、洋子に何と答えますか？

③

④今日の授業を振り返って、考えたこと・感じたことを書きましょう。

今日の振り返り	A 意欲的にできた	B できた	C あまりできなかった	D できなかった
1 資料について、興味を持って見たり読んだりできましたか	A	B	C	D
2 自分の考えを伝えることができましたか	A	B	C	D
3 友だちの考えを聴くことができましたか	A	B	C	D
4 授業の内容について深く考えることができましたか	A	B	C	D